

## ◇金言

大槻伸次

2019年1月9日のNHK「あさイチ」のテーマは「初体験」で、いざという時のマンションベランダ隔壁の壊し方、エレベーターに閉じ込められた時の対処の仕方、AEDの使い方などの特集を組んでいた。しかし私自身が気になったのは、スタジオの後方に貼られた一枚のキーワードの方だった。そのキーワードとは「**経験のない者には人生の本当の意味はわからない …ゲーテ**」だった。

私自身、いつの間にか80年に手が届く齢になった。振り返れば、楽しいことや辛いこと、悲しいことなど、山あり谷ありの人生で進路に迷うことが多々あった。そんななか、人生の指針としてきたのが父や先人からの「金言」だった。そこで、長い人生経験を振り返って、改めて「金言」の深い意味について感じいつている今日この頃である。

### ▼待てば海路の日和ありはほんとうだ

今は状況は悪くても、焦らず待っていれば、幸運はそのうちにやってくるの例え。勤務先でも家庭でも同じで焦ってはいけない。私自身もそうして乗り切ってきた。

### ▼同じ家に住んで同じ釜の飯を食ってる夫婦だって視点は違う

夫婦は似たもの同士になるというが、元々育った環境が違う男女が、同じ釜の飯を食って一つ屋根の下で暮したとて、考え方が一致するとは限らない。みんな違った意見や考え方をもって生活をしている。自分と違った意見だからと云ってそれは間違いではなく、お互い認めることが大切である。

### ▼兄弟は他人の始まりというが本当だ

たとえ仲良く育った兄弟であっても、それぞれが結婚し家庭を持てば、情愛もそちらに移り、赤の他人の様な関係になるのは自然な成り行き。極みは親の相続だろう。

### ▼物事には必ず表と裏の二面性がある（建前と本音）

どんな世界でも必ず表向きとその裏向きがある。判断には慎重さが必要である。

### ▼継続は力なり・為せば成るは本当だった

・今更説明する必要はないだろう。私自身の経験から我慢強くコツコツとやれば不可能なことはない。

・父は農家の分家として独立することになったが、兄嫁の猛反対でろくに田畑を分けしてもらえず水飲み百姓を強いられた。そこで、与えられた田畑から一粒でも多くの収量を得ようと研究（農事試験場通いをした）を重ね一反歩当たり9~10俵の収量を目指した。しかし、目標には到達できなかったが、自分で収量の多いコメの品種（自分の名前から「大嘉1号」とした）を作成し供出するまでになった。

### ▼我田引水はならない

他人のことも考えず、自分に都合のいいように言ったり行動をしたりすることで、人は皆違った考えを持って良かれと思ったことで行動している。

### ▼夢、趣味、信念を持つ

いくつになっても夢や趣味を抱いて生きたい。信念は頑固と異なる。

### ▼人生は一生学びである

常に向上心を持つことだろう。

### ▼先人に学びリテラシーを身に着ける

読書することや歴史を学ぶことは非常に大事。新聞やテレビなどで報道される事など真に受けなくて自分なりに消化する。公共放送の NHK ニュースなどだって報道する人の意思で作られている。新聞、民放、週刊誌、ネットなど参考程度と置いていけば間違いないだろう。

### ▼真面目が一番だ

・人の記憶は絶対消えないから行いは非常に大事である。失った信用は取り戻せない。天はその人の一挙一頭足を見ている。天知る、地知る、我が知る。

・終戦後、母はうちの父ちゃんは馬鹿正直だから農地委員にゴマすり（農地委員に酒を贈った人が、適地を開放してもらったと噂が立った）ができなかったからろくなくところを開放してもらえなかったと愚痴をこぼしていたが、父は頑として態度を変えなかった。そのくらいだから地区の信用はぴかいちで、村で揉め事があっても父の一言で収まるが多かった。

### ▼一攫千金なんて夢を見ない。コツコツと真面目に働くしかない

誰でも「宝くじ」等を当てて一攫千金なんて夢を見るが、確率からいうと本当の夢である。父は、「底なしバケツ」の例えをよく口にした。底なしバケツにいくら水を注いだって溜まらないが、バケツに穴がなければ、ぽたぽたの水でもいつしか満杯になるだった。例え、いくら収入があったとて無駄遣いをしてしまえばお金がたまらないが、僅かなお金でもコツコツ貯めれば大きな金額になる、まとまったお金さえあれば「いざ」というときに必ず役に立つ。お金はコツコツと貯め有意義に使うことだろう。

### ▼身の丈の生活をする

当たり前のことであるが、自身の収入に見合った生活をするのが大事。お金は計画的に使って安易な割賦販売など避けるべきだ。日本人とドイツ人は現金主義で、堅実家が多いと聞いている。クレジットカードなどによる買い物は慎重であるべきだろう。

### ▼人は皆自分の世界観がある、侵すべからず

自分の考えを安易に他人に押し付けない。また、押し付けられても困る。人それぞれに神聖な世界がある。

### ▼命は何物にも代えがたい

宇宙が開闢して 145 億年、地球が誕生して 46 億年、地球に生物が誕生したのは 38 億年前、人類の誕生は 30 万年前、此の途方もない時間の経過と偶然があって我々がここにいる。そうであるからこの世に生まれ育ったこと自体が驚くべき奇跡なのであるから命は大事にしたい。

### ▼腹八分

過ぎたるは及ばざるがごとし

### ▼他人のせいにしない

不運なことがあっても他人のせいにしないことだ。すべて己から出た錆であることを自覚することだろう。

### ▼愛だけじゃ生きられない

愛さえあれば何もいらなんて絶対言えない。現実として世の中お金がなければ生活できない。お金がすべてではないが、なくても困る。

### ▼どんなに努力しても器以上の事は成せない

自分の実力を知る事は大事だろう。

### ▼人生は思い通りにならないものだ

だから人生は面白いのだろう。

### ▼家族では腹藏なく議論しようは禍根を残す

公の場等ではいいだろうが、家族や身近な人たちとの腹藏なく議論をするは誤りだ。一度、口から出てしまったことは絶対取り消すことはできない。

### ▼一度きりの人生であるから一生懸命生きる

誠実責任不断の努力。しっかりした目標を持ち、一生懸命やることが大事だろう。

### ▼親孝行したいときには親は無しというのが本当だ

親は在って当たり前と思っていたが、あっという間にあの世に行ってしまった。もっとももっと何処かへ連れて行ってやればよかったと後悔している。

### ▼人生は時々息抜きは必要だ

人間は幾つになっても遊び（遊び心）は必要だ。ギャンブルは進められないが、現実から離れて旅をするのも一案だろう。

▼時にはおせっかいも必要なこともある。又他人の話に耳を傾けることも大事である相手を思っのおせっかいはあってもいいだろう。知って知らぬふりは出来ないし良心が許さない。

### ▼君子危うきに近寄らず

- ・世間に美味しい話など絶対がない
- ・行動は慎重であるべきだ（オレオレ詐欺などに引っかからない）。

### ▼相手を許してやる

喧嘩で仲たがいしても、ほとぼりが冷めたら許す気分になる。そうすることが大事だろう。お互い神様でもないので間違いを犯すことだってある。

### ▼明日考えよう（米映画「風と共に去りぬ」スカーレットの言葉から）

- ・どうにもならぬ時この言葉に救われた。
- ・映画評の中で、事業に失敗し明日一家心中をしようとした家族が、たまたまテレビでこの映画を見て勇気づけられ、一家心中を止めたという実話を紹介していた。

▼草原の輝けるとき 花美しく咲きしとき 再びかえらずとも嘆くなかれ その奥に秘めたる力を見出すべし…ウイリアム・ワーズワース（米映画「草原の輝き」から）  
過ぎ去った青春の再来はないが嘆くなかれ、人間、歳を重ねるごとに生きる為の知恵を獲得するものだから。